

★マークが
お地蔵さんの
場所じゃよ

本MAPの作成にあたり、
山田盛さんにアドバイ
いただきました。



5 クール・ルポ

東京から移住した上野夫妻のカフェ。フランス料理学校「コルドンブルー」で学び、料理教室を主宰してきた奥さんが、奈良の食材を使ったランチ、パン、ケーキを提供する。クール・ルポとは、フランス語で「ひとやすみ」のこと。

★夏季休業中
9月中旬から再開予定
(インスタ・電話で確認を)

住 今井町2-8-12
☎ 0744-47-4754
🕒 11:30~17:00
🔥 火~金曜
📷 cafe_courtrepos

プリューゲル関連本
ご主人が約30年前から大好きなプリューゲル。コックツと収集してきた書籍、資料。

お宝銭 22円
残金 0円

旅を終えて
住民が主体となって守り伝えてきた地蔵講。そこにはお地蔵さんを通じて、昔から脈々と受け継がれ、地域住民が一つになる尊い姿がありました。ブックカフェには、地元の人も外の人も気軽に交流できる「第3の居場所」がありました。取材にあたりご協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。

近鉄 大和八木駅 GOAL



ご主人の上野潤氏は建築士なので今井町の町家に関する資料も置いている。ちなみに①富田屋も設計。



★夏季休業中
9月中旬から再開予定
(インスタ・電話で確認を)

住 今井町2-8-12
☎ 0744-47-4754
🕒 11:30~17:00
🔥 火~金曜
📷 cafe_courtrepos

梅ジャムのアーモンドケーキ
500円
残金 22円

無添加の自家製ケーキ。知り合いの梅農家さんから収穫した梅を使ったジャムがたっぷり

お宝銭 22円
残金 0円



オグリッジズナ中も販売中

●米谷家住宅を忠実に再現した「ペーパー模型キット」 1,200円
●全国のユニーク木簡を薄い板にプリントした「木簡しおり」 500円

お宝銭 22円
残金 0円

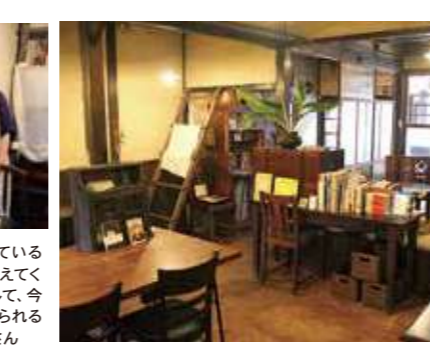
旅を終えて

店主・上田さんオススメ本
家をつくる 今井町のみか
島田 アツヒト 著
今井町のまちづくりの過程が、わかりやすく説明された絵本です。

4 コミュニティ&ブックカフェ 今井文庫

店主の上田琢也さんは、県内の社会福祉法人に長年勤める傍ら、地元の有志と今井町の空き家活性化プロジェクトのNPOにも携わってきた人物。これまでの経験を生かして、あらゆる人が気軽に交流できる「第3の居場所＝サードプレイス」として、今年4月にブックカフェを開業した。委託販売の焼き菓子も揃える。1冊100円～の古本コーナーも。

住 今井町3-2-32 ☎ 0744-29-2728
🕒 10:30~17:30 休 日・月曜 📷 imai_bunko



(左) 今井町の文化歴史を研究されている山田盛さん(地蔵盆のことも詳しく教えてくださいました)。(中) 長年指物師として、今井町の多くの建具・家具を手がけておられる富麻龍二さん。(右) 店主の井上典子さん



今井町で、お地蔵さんとブックカフェをめぐる旅

今月の旅人
にっしー

2022円の旅

Travel of 2022.9

2,022円の旅ルール
その1:所持金は2,022円(交通費込み)
その2:出発は近鉄・JR奈良駅、近鉄大和八木駅のいずれか
その3:車での移動は×(ただし公共交通機関は○)

今井町には、地蔵講以外にも、春日講、伊勢講(日待ち講)、弁天講、行者講、恵比寿講といった講文化が今も根付いています

案内人
阪本日出雄さん
(奈良まちなみ文化塾 塾長)
長らく今井町の講を観察中

2 うのまち珈琲店

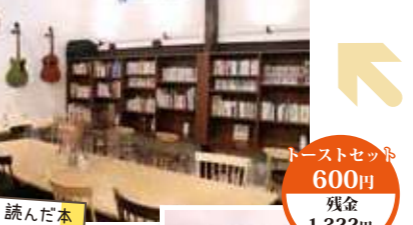
若者に人気のブックカフェ。店内の本は自由に読むことができる。印象に残った本のページには、店オリジナルの「しおり」に感想を書きこんで、挟んじゃおう。

住 今井町4-3-6
☎ 0744-41-6645
🕒 11:00~18:00 (LO17:00)
休 不定休
📷 unomachi_coffee

星新一の短編集
『地球から来た男』
死神からあと50日で死ぬと告げられた主人公が、ついに最終日を迎えるという『あと50日』。読んだ後の爽快感、生きる希望が湧くストーリーでした。

お宝銭 600円
残金 1,322円

旅を終えて



読んだ本
オリジナルしおり

アイスコヒー&マトチーズトーストのセット

お宝銭 350円
残金 972円

旅を終えて



1 自家焙煎 珈琲の富田屋

1855年築の旧音村家の蔵を改修し、今年7月に移転オープン。1Fは焙煎所、2Fは、昼寝・読書・自習など自由に使えるフリースペースとして開放中(入場料100円)。飲み物や食べ物の持ち込みOK(IH調理機、やかん完備)。本棚の本は、気に入れば自分のモノにしても大丈夫。

[2Fフリースペース(図書館的空間)]
住 今井町1-10-17
☎ 0744-22-6530
🕒 10:00~19:00
休 土・日曜、祝日

地主・洲脇大輔さんオススメ本
地宝論/田中優 著
環境活動家の著者が、地方の生産者や団体の知恵を紹介しながら、食糧、エネルギー、お金もすべて「地産地消」で再生できると社会提言した一冊です。



今井町の環濠内に悪霊が入るのを防ぐ神として、村の境界や門の付近にお地蔵さんを配したのが起源とされる(最古の記録では、嘉永3年(1850)に地蔵講を再開したという記述あり)。昭和30年代まではこれほど多くはなかったが、子どもの数が増えたことで、お地蔵さんの数(地蔵講)も現在の数まで増えたと考えられる(阪本さん談)。

今井町の いろいろなお地蔵さん

お地蔵さんとは?
(地蔵菩薩)
地蔵菩薩は、釈迦が入滅してから、弥勒菩薩が現れるまでの56億7千万年もの間、大地のように広大な慈悲の心で、あらゆる人々を苦しみから救ってくれる存在。特に子どもを守る神として信仰されてきた。

新平地蔵(大工町)
江戸時代、町内の名士で近所の子どもをかわいがっていた新平さん(上田新平)を偲び、延命地蔵と新平地蔵を旧新平屋敷の地蔵堂に安置したのが始まりと伝わる。

井上地蔵(材木町)

皇太神宮(大神宮さん)、愛宕神社、庚申さんと並んで祀られている。ご利益は「赤ちゃんの夜泣き止め」

川中地蔵(蘇武町)
元々川と堀に挟まれた場所にあったため川中地蔵と呼ばれる。御利益は「水難防止」。井戸のそばに設置されている。

聖徳太子が水を飲んだ、愛馬黒駒の足を洗ったと伝わる井戸「蘇武文井」

どうしてこんなに お地蔵さんが多い?

今井町の環濠内に悪霊が入るのを防ぐ神として、村の境界や門の付近にお地蔵さんを配したのが起源とされる(最古の記録では、嘉永3年(1850)に地蔵講を再開したという記述あり)。昭和30年代まではこれほど多くはなかったが、子どもの数が増えたことで、お地蔵さんの数(地蔵講)も現在の数まで増えたと考えられる(阪本さん談)。